

ネットワーク可視化・分析の自動化を実現する クラウド型無線LANサービス

FENICS ビジネスSDN powered by Juniperは、ネットワーク運用の高度化を強力に推進します。特に、AI/MLを活用したトラフィック分析や異常検知は、予兆管理を可能にし、障害発生前に対応することでビジネス継続性を高めます。これにより、属人化された運用からの脱却、リソースの最適配置、そして将来的なネットワーク拡張への柔軟な対応を可能にし、企業の競争力向上に不可欠な基盤を提供します。

無線LANにおける運用課題／動向

課題 1

「繋がっているけど遅い」「切れたりつながったりする」など微妙に繋がらない事象に対し、ユーザごとの体感品質が分からず、原因究明と対処ができない。

課題 2

外来波など周辺環境の影響で無線LANの品質が低下する度に、情報システム部門が調整する必要があり運用負荷が高くなる。

課題 3

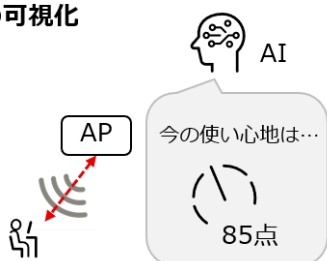
トラブル対応で現地調査が必要になるたびに出張が必要になり、情報システム部門の運用負荷と諸経費が高くなってしまう。



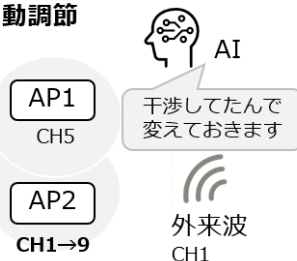
解決策

- ◆ AIによる可視化とトラブルシュートでユーザエクスペリエンスを向上させ運用負荷を軽減
- ◆ AIの自動調整機能によりユーザエクスペリエンスを向上させ運用負荷を軽減
- ◆ 管理基盤をクラウドサービスで利用することで全国の拠点にリモートメンテナンスが可能

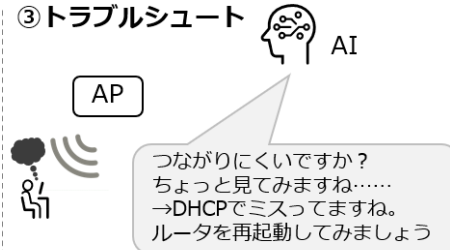
①可視化



②自動調節



③トラブルシュート



サービスの特長

①トラブル対応の迅速化、対応コストを圧縮

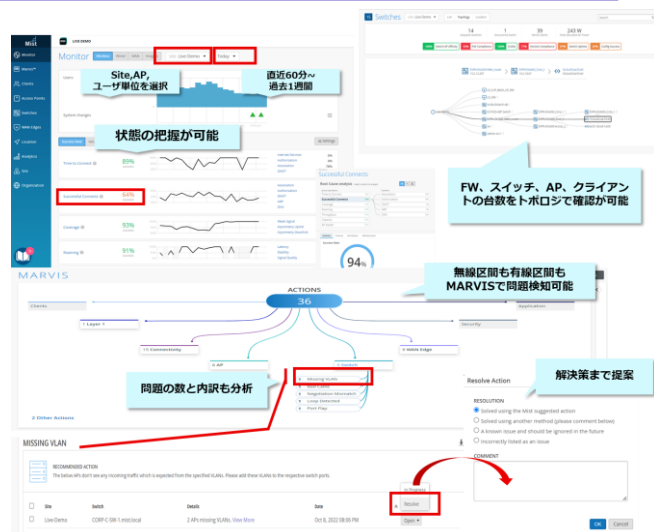
AI機能を活用し、ネットワークの利用状況をスコア化し、直感的に“今、何が起きているか”を可視化することで、“なんとなくネットワークが遅い”といったユーザ申告への迅速な対応を支援します。またスコアの低い問題に対する原因・対応策も提示されるため、一次対応の迅速化・対応コストの圧縮が図れます。

②無線LANがつながりづらい、何となく遅い、申告への対応

無線LAN利用時のユーザからのパフォーマンスに関する申告は、調査のため現地での再現確認など必要となるケースが多く、長期化または未解決となるケースが多い。本サービスに対応した無線LANをご利用いただくことで、事象発生時の接続シーケンスや無線パケットキャプチャを取得でき、すぐに原因特定・対応策に取り掛かることが可能です。

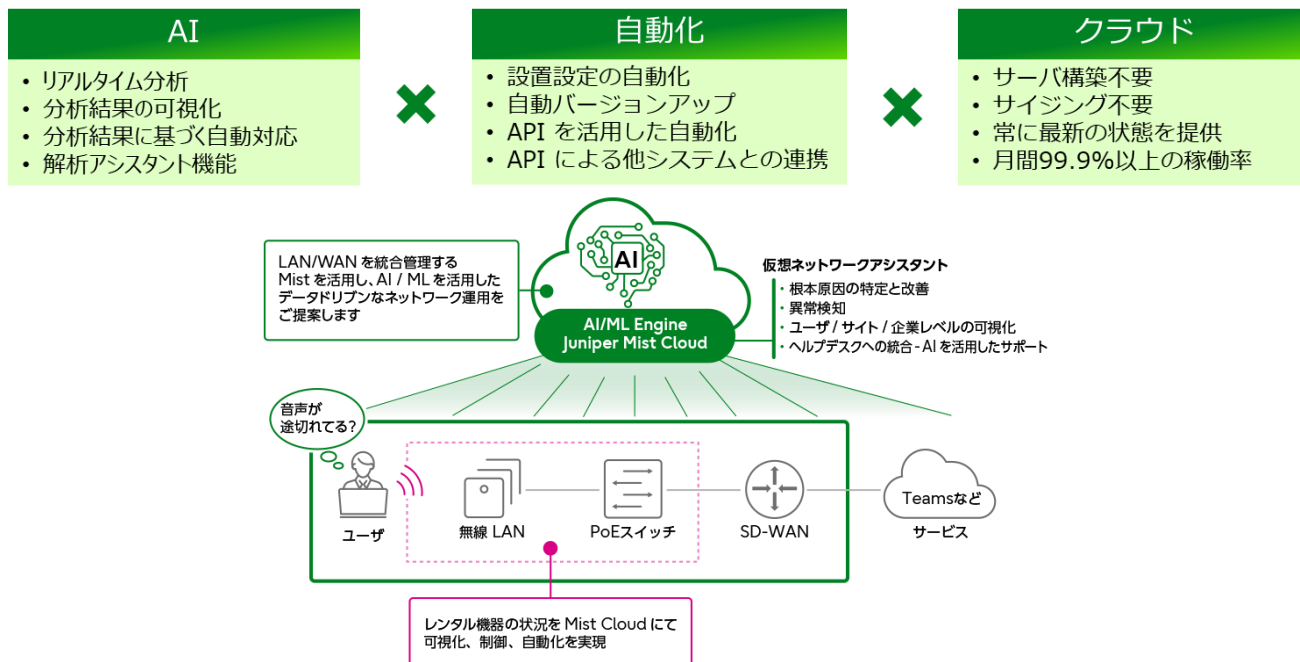
③無線AP機器の一元管理

クラウド環境にて提供するから管理画面にてお客様全社の無線ネットワーク環境を一元管理し、運用業務の効率化を実現します。



サービス構成

本サービスは無線APのレンタル提供およびクラウド型無線LAN管理機能を提供します。



お問い合わせ先

製品・サービスについてのお問い合わせは[コチラ](#)

富士通株式会社 〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1

